



から こんには 今月の 気になる人

久礼田支所管内より

青年農業士を務める地域のリーダー 金田 善充さん (44)

南国市比江で水稻15ヘクタールをご両親と栽培している金田さん。専門学校卒業後、建築物の設計をしていましたが、ご両親が高齢になったことで14年前に就農しました。収穫したお米は、JAや直販、病院や地域の食堂などへ持って行きます。食べた人から「お米が美味しい！」と声を掛けてもらうことがとても嬉しいそうです。優秀な農業者に与えられる青年農業士の認定を受けてからは、ネギの栽培もスタート。「地域のリーダーとして、任せられる存在になりたい」と、栽培技術の向上に日々励んでいます。



大田口支所管内より

一輪車に乗れるようになったよ！

平石 雫ちゃん (8)

雫ちゃんは、おおよ小学校に通うカレーが大好きな小学2年生です。雫ちゃんは、一輪車に乗ることが大好きで、いつも学校で練習しています。毎日練習を繰り返した結果、今では同級生の中で一番上手に乗れるようになりました。雫ちゃんが乗れることを知らなかったお母さんに自宅で披露すると、その姿にとっても驚いて喜んでくれたそうです。

お母さんは、「雫には人の気持ちがわかる子になってもらいたい」と、これからの成長を楽しみにしていました。



大篠支所管内より

クックパッド、見て下さい！ 隅田 るり子さん (71)

南国市園芸女性部長として、各品目の女性部を支えている隅田さん。品目では大葉女性部長も務め、農家レストランでは活動の中で生まれたレシピを活かした料理を振舞っています。

今年は、コロナウイルスにより消費宣伝が出来ませんでしたが、「お家ごはんを充実してほしい」との思いで、全品目からの新レシピ考案を提案しました。採用された新レシピは、クックパッドに掲載し、視聴者の料理の幅を広げています。「陰で支える各品目の女性をもっと知ってほしい」と常に周りを気にかけ、先を見据える隅田さんでした。



大田口支所管内より

看板犬+番犬 飼主：永森 妙子さん ペット：きなこちゃん (5)

きなこちゃんは、5年程前に永森さんの息子さんがか家の近くに捨てられているのを見つけ、可哀そうに思い拾ってきた柴犬の女の子です。

平日は、南国市にある永森さんの子どもさんが営んでいる商店で、看板犬としてお客さんに可愛がられています。お店にいたる間は、大人しくいつもお客さんを歓迎しますが、自宅に帰ると番犬として活躍します。以前、泥棒に入られたことがあるそうですが、きなこちゃんが追い払って無事なことを得たそうです！週末になると、大豊町の西峯地区にある永森商店で看板犬+番犬として永森さんのお店を守っています。



15年一緒に初めて知りました

飼主：横畑 幸雄さんのご家族

ペット：かめじちゃん (推定15)

動物が大好きなお父さんが、15年程前にペットショップで購入したギリシャリクガメのかめじちゃん。家族全員で育てていますが、実は名前も年齢も種類も取材するまで子どもたちは知らなかったそうです。リクガメという名前から水が嫌いだと思い込んでいましたが、実はぬるま湯に浸かって半身浴をするのが大好き！名前は男の子だろうと思い、お父さんが付けましたが、生後1年経つ頃にメスだと判明しました。「全然知らなかった…」と、子どもたちはびっくり。これからも新しい発見をぜひ、家族で共有してください！

日章支所管内より



5 南国市地域

十市ブドウジュース作り



煮だし作業を行う宮原課長

十市経済課は8月18日、19日の両日で、南国市十市管内で収穫されたブドウを原料にした濃縮ジュースを製造しました。JAオリジナルブランドとして30年以上前から製造・販売しており、地域特産品として宣伝しています。管内では、12人が加工用のブドウを生産しています。ジュースには、甘くて濃厚で香りが良いのが特徴のキャンベルアーリーを使用。今年は、十市集出荷場の加工場で職員2人がブドウ約60kgをジュース100本分に加工しました。

6 れいほく地域

ウェルカムフラワーの展示



ウェルカムフラワーを紹介する山中店長さん

モンベルアウトドアヴィレッジ本山で8月8日から16日まで、「ウェルカムフラワー」の展示を行いました。新型コロナウイルスの影響を受けて花の需要が落ち込む中、生産者、消費者、生花店を繋いで来場者に花を身近に感じてもらうことを目的としています。嶺北地域では、夏秋季の冷涼な気候を生かし、ユリやトルコギキョウをはじめとする花卉を栽培。同施設では、ピジターセンターとレストラン入り口に、嶺北産の花をメインに約20品目を展示しました。

3 れいほく地域

ちゃぐりんフェスタ2020開催



生き物観察を楽しんだ子供ら

女性部れいほく地区は8月8日、土佐町管内の田んぼで「れいほくちゃぐりんフェスタ2020」を開催しました。子どもと保護者、JA職員など計43人が参加しました。今年は、「田んぼの生き物観察会」と題し、農と生きもの研究所の谷川徹さんを講師に迎え、水田で様々な生き物の調査を行いました。子どもたちは、カエルやバッタなど、たくさん生きものを採集しました。帰り際には、嶺北産の食材をふんだんに使った部員手作りのお弁当を持ち帰りました。

4 南国市地域

折り紙教室再開



距離をとって行われた折り紙教室

8月11日、地区本部3階で折り紙教室が開かれました。新型コロナウイルスの影響で5月は中止となりましたが、久しぶりの再開に参加者15人が参加しました。今回のテーマは「はらのブルー」。講師を務める鶴見雅子さんは「折り紙を作成する間は、コロナのことを忘れて楽しみましょう」と呼びかけました。参加者は、ピンクや緑など色鮮やかな折り紙を使って、説明を受けながら仕上げていました。次回は11月開催で、干支の「丑」を作成するそうです。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



初めて脱穀機を体験する児童

1 南国市地域

晴天の中 元気に稲刈り 脱穀も体験

長岡青壮年部は8月20日、南国市の田んぼで同市立長岡小学校の5年生と稲刈りを行いました。部員7人、児童17人の他、保護者やJA職員が参加し、田んぼ10アールの5アール分を手刈りしました。この活動は、「子どもたちに普段食べているお米が、どのようにできているか知ってほしい」という部員の思いから24年前にスタート。例年、部員と児童が4月頃に田植えを行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で児童は参加できず、部員が4月中旬に機械植えしました。刈取り前には、児童が田んぼに訪れて生き物観察を行いました。この日は、同青壮年部の竹内鉄也部長が「今年は田植えができなかった分、稲刈りをしっかり体験しよう」と挨拶。児童は鎌を1人1丁ずつ持ち、田んぼに1列に並んで収穫しました。昔ながらの脱穀機やコンバインを使って脱穀にも挑戦しました。収穫後は、管内にある民具館やライスセンターも見学し、収穫後の米の流れを学びました。収穫したお米は、10月頃に学校給食で全校生徒に提供します。



味や販売戦略が見当された試食会

2 れいほく地域

米ナスフェアー開催しました



米ナスのハンバーガー仕立て

れいほく園芸部米ナス部会は7月31日、シェフと産地のコラボ「れいほく米ナスフェア」に向けて参加店の一つ、「レストランMARKドゥーブル」で試食会を開きました。部員、JA職員、関係機関から計23人が参加し、嶺北産の米ナスを使用した料理の味や販売戦略について意見交換しました。イベントは、同部会の窪内勉部長が同店代表の三木竜太さんに米ナスの認知度向上と活用の普及を呼びかけて始まりました。今年は、高知市内の飲食店8軒とコラボし、各店舗で米ナスをメインに、嶺北産彩どりピーマンやホウレンソウなどからも選んで調理します。試食会では、米ナスをパン代わりにした「米ナスのハンバーガー仕立て」などを味わいました。同店では、週替わりランチと月替わりディナーコースに米ナス料理を組み込み、来店者が必ず米ナスを口にするよう、別メニューには「米ナスの冷製ポタージュ」をセットしました。イベントは8月いっぱい行われ、今年も多くの来店者が米ナスを味わいました。

えいのう～

役立つ！
得する！
情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

緑肥を活用した土づくり

雨よけ栽培では、栽培終了時に湛水や降雨にあてられないことから、塩類過剰による根傷み、連作による有害センチュウなどの発生によって、土壌病害が発生しています。そこで、連作障害を回避するため、緑肥の活用方法をご紹介します。

緑肥とは、土を肥沃化する目的で栽培し、土にすき込む作物です。夏作では、吸肥力が強く粗大有機物が供給できるソルガム、冬作では生育期間が長くなりますが、エンバクやライ麦、マメ科のヘアリーベッチなどがあります。中には有害センチュウの密度を低下させたり、特定の土壌病害を軽減させる機能を有する品種もあります。

●緑肥の効果

- ①物理性の改善…有機物による団粒構造の発達、根による孔隙量の増加と作土層の深層化、透水性と通気性の向上
- ②化学性の改善…保肥力の増大による塩類障害の抑制
- ③生物性の改善…有用微生物の増加による土壌病害虫の抑制

令和元年にシシトウ青枯病の多発圃場（約7割）で、1作休ませてソルガムと太陽熱消毒を実施した事例を紹介します。5月にソルガムを播種し、7月にハンマーナイフモアを使ってすき込みました。出穂前の草丈は約2mに達していました。EC値が0.1まで低下していたので翌年の基肥を施用し、耕耘・畝立てした後に透明ポリフィルムで被覆しました。その後、太陽熱消毒を実施して翌年まで放置しました。令和2年4月にシシトウを定植したところ、青枯れの発生はなくなり、収量も増加しています。



ソルゴーの草丈263.8cm（5株平均）、生重12kg/m²



ハンマーナイフモアでソルゴーをすき込む

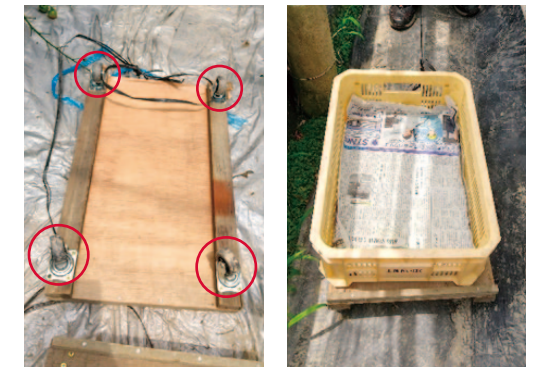
GAP 掲示板 vol.7

今月の
優良事例

れいほく地域 「収穫作業の省力化」

優良ポイント：

ミニトマトの収穫時に、収穫物の運搬が容易にできるキャスター付きの運搬台車を手作りしています。



南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

0881-86312415

水田の スクミリンゴガイ 対策について



南国営農経済センター
営農指導課
近澤 慶哉

スクミリンゴガイは、乾燥に強く越冬も可能で、水稲栽培時期になると水路から水田へ侵入して繁殖を繰り返す。田植えから3週間前後の間、苗を食害します。大量発生を防ぐには、地域ぐるみで次の防除対策を行う必要があります。

1. 冬の耕うん作業

12～2月の厳寒期に田を乾燥させ、耕うん走行速度を遅くし、ロータリーを高回転で浅く（深さ5cm前後）2回程度耕うんする（貝を破壊し、寒気にさらし越冬防止を図る）。田面が硬い時に耕うんすると、貝の破碎効果が高い。

2. 整地・移植直後

整地・代掻きを均平にし、（圃場が凸凹だと深い所の株が食害される）移植時期を早める（貝は柔らかい小さな稲を好んで食害するので、貝の活動前に稲の生育を進める）。移植後は、苗が活着したら水深をできるだけ浅く保

ち、浅水管理で貝が稲を引き込めにくくする（1cm程度が理想。4cm以下で実害を減らせる傾向）。

3. その他耕種的防除

水口に約5mm目の網を張り、水路からの侵入を防ぐ。水路を清掃し卵を除去する（卵は産卵後、一定期間内に水中に落とせばふ化しない）。水口付近を少し掘り、誘引して捕殺する（野菜などを餌にすると効果的）。

※本貝は、寄生虫を持っている場合があるので、触れる時にはゴム手袋を着用しましょう。



薬剤による防除については営農指導課（0881-86312415）までお問い合わせください。

ビニルハウスによる 省エネについて



南国営農経済センター
営農指導課
宮崎 晃一郎

◆燃料暖房機のメンテナンス

施設園芸では、加温機の定期的な点検や清掃が欠かせません。定期的なメンテナンスにより、暖房機に加温能力を最大限に引き出すとともに、省エネルギー対策に努めましょう。

◆隙間の点検

被覆部分の隙間は温室の保温性を低下させるだけでなく、付近にヒートポンプがあると隙間から冷気を吸い込み暖房効率低下してしまうので、ヒートポンプの稼働時に注意しましょう。冷房利用の際も、内張カーテンを閉じて遮断性を高めること、除湿利用の際も室外空気の流入を抑えることが重要です。夏期の利用では被覆部分に隙間がでやすいため、隙間や破れがないかチェックして対策しましょう。

農産物栽培 講習会のご案内

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時内容

令和2年10月21日（水）
13時30分～15時20分

●セルリ

13時30分～14時

●レタス

14時10分～14時40分

●ほうれんそう

14時50分～15時20分

場所

JA高知県南国営農経済センター2階
（南国市上野田303-1）

講師

JA営農指導課職員
※参加ご希望の方は10月20日（火）までに、JA高知県南国営農経済センター営農指導課（0881-86312415）まで連絡をお願いします。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「高知の食材で夏のひんやりスイーツを楽しもう！」に本山町のカフェも載っていましたし、他の場所にも行ってみたいになりました。高知産の物は本当に美味しいので農家さんにはいつも感謝しています。ありがとうございます。
(れいほく支所・38歳)

▼本山町の「SORAソフト」は、とてもインパクトがありましたね！美味しい農産物を作っている生産者さんに感謝し、いっぱい消費しましょう！

毎日を元気にマスクつけて幸

(長岡支所・76歳)

▼マスクも色々な種類が販売され始めましたね。自分のためにも周りのためにも、マスクを欠かさず元気に過ごしましょう。

学童農園事業はこれからの子どもたちの生活スタイルに大切なことだと思えます。将来の職業の選択肢の一つとしてはもちろんですが、土を触り野菜の栽培を通して自分が食べる物への親しみも湧くのではないかと思います！自分の子どもにも体験してほしいです！
(三和支所・62歳)

▼本当にその通りですね。小さな時から土に触れ、地元の食材について知る機会はとても貴重だと思えます。自分の子どもにも経験してほしい事業ですね！

初めてこうぐり2020年8月号を読みました。色々な記事を読んで、楽しかったり、珍しかったりして良かったです。
(十市支所・65歳)

▼ありがとうございます！色々な方に興味を持って読んでもらえるような広報誌づくりに取り組んでいきます。

川柳

こうぐりの 次回の号が 楽しみです
(れいほく支所・58歳)

▼ありがとうございます！次号もお楽しみに！

猛暑日や 家にいるよと コロナ言う
(南国中央支所・79歳)

▼暑さもコロナもお家で回避ですね。汗見川 とこしえに萌ゆ 藤袴
(れいほく支所・45歳)

▼素敵な川柳です！汗見川に行ってみました。



れいほく

れいほく新米キャンペーン！

四国の中央部、吉野川流域で栽培された棚田のお米「ヒノヒカリ」を、是非ご賞味下さい！

対象商品

「ヒノヒカリ」5kg・10kg精米、30kg玄米

キャンペーン期間

10月26日～11月20日（※期間内特別価格）
※開始期日が収穫の状況により変更する場合がございます。

お問い合わせ先

お近くの購買店舗、又は、
れいほく営農経済センター購買課
(TEL：0887-82-2805)



れいほく

ライスセンター・集出荷場アルバイト募集

作業内容

稲刈り後の生籾受入・乾燥・籾摺り、玄米袋詰め作業など（ライスセンター）、野菜の選果出荷作業（集出荷場）

作業期間

10月～11月末ごろ

募集人数

若干名

作業場所

土佐町ライスセンター、土佐町集出荷場

お問い合わせ先

れいほく営農経済センター営農販売課
担当：石本（TEL：088-855-3179）

南国

短期アルバイト募集

作業内容

ダイコンの収穫、結束、洗浄、運搬など

作業期間

12月～1月

募集人数

若干名

作業時間

午前8時30分～午後5時30分
※詳しくは、下記お問い合わせへご連絡ください。

お問い合わせ先

(株)南国スタイル
担当：後藤（TEL:088-855-3179）

土長南国地区「JAまつり」中止について

女性部・青壮年部にお世話になり、開催しておりました「JAまつり」ですが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、本年度は中止とさせていただきます。尚、組合員の皆様にはいつもご参加頂いておりますことに、感謝申し上げます。